

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	世界と共生する社会の形成	施 策	① 国際感覚に富む人材の育成	
			施策の小項目名	—	
主な取組	内閣府青年国際交流事業派遣				
対応する 主な課題	①世界と共生する地域の形成のため、児童・生徒に対する英語教育の充実、各分野から海外の学校へ留学生や研修生を派遣するなど、国際感覚に富む創造性豊かな人材の育成に取り組む。				

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
内閣府青年国際交流事業は、日本と諸外国の青年の交流を行い、青年の国際的視野を広め、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青少年を育成することを目的にしている。各都道府県で同事業を実施し、県内青年に対する募集事務と第1次選考を実施している。		H29	H30	R元	R2	R3
実施主体		内閣府青年国際交流事業への県内青年派遣				
担当部課【連絡先】		子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課 【098-866-2174】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位 : 千円)	
予算事業名 内閣府青年国際交流事業派遣費								
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度	令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
県単等	直接実施	59	89	57	0	0	92	県単等 OR3年度 : 新型コロナウイルス感染症の影響で、従来県に依頼されてきた募集事務と第1次選考を、内閣府が直接行うことと変更になったが、事業は中止となった。 OR4年度 : 昨年に引き続き内閣府が窓口となる形で募集事務と選考を行う予定。今年度も派遣が難しい場合はオンラインでの交流に切り替えることを想定している。
予算事業名								
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度	令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
							OR3年度 :	
							OR4年度 :	

様式1(主な取組)

活動指標名	内閣府青年国際交流事業への県内青年派遣				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止となった。			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B						
活動指標名					R3年度			0	未着手	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止となった。			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B						
活動指標名					R3年度			0	未着手	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止となった。			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B						
(2)これまでの改善案の反映状況													
令和3年度の取組改善案							反映状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き沖縄県青年国際交流機構と連携を図り、可能な形で事業報告会やパネル展など事業周知の取組を実施し、認知度を高める。 ・内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。 							<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、沖縄県青年国際交流機構の活動も低調になっており、事業周知等に取り組むのが困難だった。 ・内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。 						



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点（内部要因、外部環境の変化）

○内部要因

- ・例年応募者が少ないため、事業の認知度を高める必要がある。

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が事業の執行に影響を与える恐れがある。

(2) 改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点）

- ・県内青年の事業認知度を高めるため、広報活動の強化を図る。
- ・主催者である内閣府との情報共有を密にする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- 
- ・引き続き沖縄県青年国際交流機構と連携を図り、可能な形で事業報告会やパネル展など事業周知の取組を実施し、認知度を高める。
 - ・内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。